

事業番号	04 09 23	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	西駒郷管理運営事業				担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト					課・室	障がい者支援課	
	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 2 障がい者支援の充実				E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp	
					実施期間	H10 ~		

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 地域の入所施設としての役割だけではなく、社会生活上問題行動のある方及び障がいの重い方等の受入れを含め、全県のセーフティネットワーク機能としての役割を果たす。 利用者個々のニーズに応じた個別支援を充実することにより、それぞれが希望する生活ができるようにする。 入所者が地域での生活を希望する場合は、関係機関と連携して、地域に戻るための支援を行う。
------	--

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年度に策定した西駒郷基本構想に基づき入所利用者の地域生活移行を推進した結果、平成15年度～平成25年度(9月末)の移行者数は、累計で276人となり、入所利用者数は441人から126人まで減少している。 地域生活移行希望者に障がい程度が重い等で移行が困難なケースが増えている。
------------	--

県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施：実施は困難	【左記の説明、根拠法令等】 社会生活上の問題行動や重度障がいのある者等、他施設で受け入れが困難な障がい者に対応するセーフティネットワーク機能としての役割を果たしている。
----------	--------------------------------	---

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)				
	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活移行を希望する入所利用者の状況、移行先となるグループホーム等の整備状況等を勘案して、以下のとおり目標を設定する。 ○地域生活移行者数(単年)：20人 ○入所利用者数：120人 ○通所利用者数：87人 入所利用者、保護者の満足度の向上(顧客満足度調査(支援員の対応))：「適当である」の回答割合：75% 				
	② 事業内容 (単位：千円)				
		項目	実施方法	H26事業実績	
				(当初)	(決算)
	指定管理委託料	指定管理	305,817	305,817	275,126
	指定修繕委託料(駒ヶ根防災設備危機改修工事)	指定管理	2,033	2,033	
	指定修繕委託料(ひまわり棟個室化改修工事)	指定管理	44,000	36,558	
	指定修繕委託料(まつば棟エアコン設置工事)	指定管理			1,829
	クリーニングプレス機更新	直接			1,322
		合計	351,850	344,408	278,277

事業コスト	区分(単位：千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	299,842	312,114	351,850	278,277
	補正予算				
	合計(A)	299,842	312,114	351,850	278,277
	一般財源	299,842	307,902	305,499	278,006
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	4,212	46,351	271
	決算額(B)	297,780	312,114	344,408	
概算職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	
概算人件費	4,129	4,129	4,129	4,129	
概算事業費(B(A)+C)	301,909	316,243	348,537	282,406	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
地域生活移行者数(単年)	7人	20人	13人	未達成	—
入所利用者数	120人	120人	104人	達成	104
通所利用者数	87人	87人	98人	達成	102
利用者満足度(支援員の対応)	-	75%	81%	達成	—

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活移行者数は、前年度と比べると大幅に増加したものの、入所者の重度化・高齢化により地域移行が見込める障がい者数が減少したため目標未達成となった。 通所利用者数は、施設入所支援だけでなく、生活訓練や就労継続支援等、地域移行に向けた訓練等給付を積極的に行ったことから、前年度より増加した。 利用者のニーズに沿ったきめ細かな支援が行われており、利用者を対象とした満足度調査では、80%以上が満足との回答が得られた。 入所利用者数について、予め設定したH27目標がH26に達成されたため、目標を変更する。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> 入所者が重度化・高齢化しているため地域生活移行が困難なケースが増えてきているが、個々の特性やニーズを踏まえた支援を引き続き行っていく。 地域生活移行による入所利用者数の減少に対応した施設運営等の検討を行っていく。